



おおさきかみじま 議会だより

第49号/2015年 8月 7日

そよめん流し (子供会)

平成27年6月定例会

6月定例会	2
5議員が一般質問	3～8
中学校部活動紹介	9
委員会報告	10～11
追跡・編集後記	12

第2回定例会(6月議会)

大崎上島町議会は、平成27年第2回定例会を6月24日、25日の二日間開会した。

5名の議員の一般質問に始まり、7件の議案、1件の報告、1件の議員提案による規則の一部改正を審議、可決し、特別委員会の設置について決定した。

決まった主なこと

◎大崎上島アンテナショップ条例を廃止する条例 他7議案

◎大崎上島町議会会議規則の一部を改正する規則(議員発議)

◎特別委員会の設置

○定住促進調査特別委員会

委員長 浜田幸造議員 副委員長 閑田大祐議員
委員 信谷俊樹議員 渡辺年範議員 蒔田篤雄議員 道林清隆議員

○交通対策調査特別委員会

委員長 尾尻康二議員 副委員長 辰田真司議員
委員 信谷俊樹議員 越田賢一議員 前田 太議員 浜田明利議員

○地方創生調査特別委員会

委員長 道林清隆議員 副委員長 蒔田篤雄議員
委員 辰田真司議員 信谷俊樹議員 越田賢一議員 前田 太議員
渡辺年範議員 尾尻康二議員 閑田大祐議員 浜田幸造議員
浜田明利議員 (議席順)

第1回臨時会

平成27年5月29日第1回臨時会が開会され全ての案件を可決した。

◎専決処分の承認

○大崎上島町税条例等の一部を改正する条例

○平成27年度大崎上島町一般会計補正予算(第1号) 外

◎大崎上島町副町長の選任につき同意を求めること

○亀山 英治 氏 大崎上島町東野

◎大崎上島町教育委員会教育長の任命につき同意を求めること

○出口 一伸 氏 大崎上島町中野

◎大崎上島町教育委員会委員の任命につき同意を求めること

○藤原 龍秀 氏 大崎上島町木江

◎大崎上島町監査委員の選任につき同意を求めること

○澤田 武義 氏 大崎上島町中野

◎大崎上島町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

一般質問

町政を問う

5人の議員が質問



どうりん きよたか
道林 清隆 議員

質問（道林議員）

地方創生の主役は、その地域に住む人々であり、事業実施にあたっては民間ノウハウの導入が必要といわれている。

大崎上島は内海離島として、あらゆる分野で大崎上島らしさを構築できるポテンシャルを有している。

バランスのとれた力強い大崎上島町実現のため、地方創生事業にどう取り組むか、あわせて町民への周知と理解をどう得るか具体策を伺う。

問

地方創生の取組みは

答

総合戦略を策定
地域懇談会の開催

答弁（企画振興課長）

まち・ひと・しごと創生法が昨年の11月28日に施行され、全国の各自治体が地域活性化事業の取り組みを始めた。

実施に際しては、各自治体における人口ビジョン及び総合戦略を策定し、事業ごとに重要業績評価指標を設定することが必須条件となっている。

本町では、総合戦略会議を立ち上げ、本年10月末日を目標に、むこう5年間の人口ビジョン及び総合戦略を策定する予定である。

答弁（町長）

戦略会議では、町の20年後、30年後を見据えた骨太の計画が策定されることを期待している。

町内の集落活性化については、それぞれの地域課題があるので、行政が地域に出向き、これからのまちづくりの進め方についての地域懇談会を、本年9月頃から始める。

お知らせ

○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。

※インターネットをご利用の場合はホームページの注目記事

「○○議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。

※録画の視聴は町議会メニューの議会録画中継配信でご覧いただけます。



はま だ こうぞう
浜田 幸造 議員

問 神峰山公園道の整備は

答 町道として整備を

質問（浜田議員）

わが町のシンボルであり、観光スポットでもある神峰山は、島内はもとより島外からも年間を通して多くの利用客がある。

しかし、道路状況は幅員が狭い上に路面の傷みが酷く、またイノシシによる落石もあり、道路通行上非常に危険な状況にある。

平成24年12月定例議

会の一般質問で、環境省に

道路拡幅改良要望書を提出したが、地形と現地状況から自然に対する負担が大きすぎるとして認められない。

また、第1種特別地域などの整備を優先する方針から、第2種特別地域の神峰山の整備は厳しい状況であるとの答弁であったが、環境省による整備の見通しが立たないなら、町単独事業で整備計画を進めて行く考えは出来ないか。

答弁（産業観光課長）

神峰山はわが町にとってシンボルである。

町を代表する観光スポットであり、また近年修学旅行の誘致により、修学旅行生や民泊受入れの殆んどが神峰山を訪れることから、年間の登山者も増加している。

町はこれまで、環境省に狭隘な公園道整備について要望してきたが自然に対する負担や財政的な問題か

ら良い回答が得られておらず、今後も困難な状況が続くと思われる。

町単独での整備が近道だと考えているが、公園道は現在、県の主管であり、これをまず町道に認定することを検討し、路肩等の傷みの著しい危険箇所修復、待避所の増設等を国、県の主導のもと一つ一つ進めていくよう引き続き要望、協議していく。

問 海岸保全と県道整備は

答 引き続き要望していく

質問（浜田議員）

宇浜区側と岩白区側に海岸保全未実施区間

があり、台風等による災害を受けやすい状況にある。

災害を受けると海岸と平

行して走っている県道大崎

上島循環線が通行不能となり、島のライフラインが途

絶えてしまう。

災害を未然に防ぐためにも海岸保全未実施区間の整



神峰山公園道

備と併せ未改良区間の
県道大崎上島循環線の
整備が急がれると思っ
が、町の考えは。

答弁（建設課長）

宇浜区から岩白区
間の護岸で未整備箇所
があり、また県道につ
いても約3分2余りが

未改良である。

これは旧木江町時代に民
有地や無番地があったりし
た用地の問題があり、整備
が遅れてきたのが現状であ
る。

県には毎年整備要望をし
てきているが、用地や財政
的な問題等で、未だ事業着
手に至っていない。

近年地籍調査も完了し、
地籍図に全線の隣接地に地
番が確定し、事業実施に向
けての一定の条件が整理さ
れたので、県道の全面改良
については、未だ事業採択
されておらず年数を要する
ので、まず部分改良で再生
改良事業というのがあるの
で、用地の確保が見込まれ

る箇所から、事業着手出来
るよう県に引き続き要望し
ていく。



県道大崎上島循環線（岩白区）



かん だ だいすけ
閑田 大祐 議員

問
大崎海星高校の次の活性化策を

答
まず公営塾の体制を整える

質問（閑田議員）
大崎海星高校は現在、
町と連携し、様々な形
で魅力ある学校づくり
を進めている。

町も公営塾開設にあ
たり助成を行い、活性
化に向けて進みだした
が、これに満足せず次
の計画を立てるべきで
は。
教育においては施策

の成果が現れるまでに時間
が掛かる。

結果が出て次の施策に移
行していたらタイムラグが
生じる。

離島の当町にとって県立
高校はなくてはならないも
のであり、絶対に存続させ
るといふ地元の強い意思表
示として、町が受身になら
ず積極的に活性化を推進す
るべきでは。

答弁（町長）

公営塾を開設したばかり
であり、体制も十分整って
いない。

まずはこれをしっかりと
整え、公営塾・高校・行政
が連携を深め、次の施策が
必要になった段階ではきち
んと対応したい。

問
町の経済・雇用対策を積極的に

答
行政として出来ることで効果的なことは採用する

質問（閑田議員）
ここ数年、建設会社や造
船会社の倒産・廃業が相次
いでいる。
町の経済雇用は危機的状
況だ。

予算編成に限らず、町に
出来る支援は色々があると
思うが。

答弁（町長）

企業に対する助成など、
雇用促進に効果のありそう
な施策は積極的に採用する。



信谷 俊樹 議員
のぶたに としき 信谷 俊樹 議員

問

国民健康保険総所得割制度とは

答

後期高齢者医療制度の
支援金算出方法

「所得に応じた総報酬割制度」、「特定健診」の受診率の動向、「生活習慣の改善」についてどのような対策・対応をしているのか。

センターを木江支所に統括すればうまく連携連動できるのではないか。

答弁（保健衛生課長）

地域包括支援センターの介護予防プランや高齢者権利擁護などはうまく機能しているのか。地域包括支援セ

被用者保険の保険者が負担する後期高齢者医療制度の支援金を加入者の収入に応じて支援金を算出するというのが総所得割。健診受診率は、過去3年間で約26%だったが、平成27年度

は20・7%だった。町内の医療機関などを通じて受診勧奨や継続健診の向上を図り生活習慣病予防については、予防講演会で疾病の発生子予防をする。介護保険法の改正により訪問介護と通所介護で日常生活支援に取り組んでいる。地域包括センターは現状が最善だと思うので当面はそのまま運営する。

問

臨時職員と嘱託職員の違いは

答

職務内容が異なる

質問（信谷議員）

地方公務員の特別職と、非常勤の臨時職員の違いを説明し、不平等感のないようにすべきでは。

答弁（総務課長）

期限付きで職員が欠員となる課等に臨時職員を配置している。

同じ職場なのに雇用条件が違い過ぎるので考慮してほしい。

臨時職員が嘱託職員に応募すれば平等な立場で対応する。

問

介護保険事業計画策定状況は

答

地域包括ケアシステムを継続する

質問（信谷議員）

県内基準額が高い当町の介護保険料をどのように維持抑制していくのか。

答弁（福祉課長）

第5期で開始した地域包括ケアシステムを継続して、第6期介護保険事業計画策定に取り組み、総合的な町づくりシステムを発展充実していく。

問

防災無線の故障時の対応は

答

早期復旧の方法を検討する

質問（信谷議員）

防災無線の不備時の対応はどうするのか。

答弁（総務課長）

予備機の確保を含めた復旧の手段・方法を協議、調整を進めている。

再質問 (信谷議員)

明石・沖浦地区の防災無線機器が故障した。災害がなくよかったが、災害発生の可能性の中で、防災無線機が故障した時にはどのように避難誘導をするのか。

再答弁 (総務課長)

早期復旧の手段と方法に加え広報車による直接対応や野外子局からの直接放送が出来るシステムも検討する。



放送室

問 特定空家の立入調査や強制撤去等の総合対策は

答 行政代執行を含め検討する

質問 (信谷議員)

町は治安や防災上懸念のある空き家の所有者に、撤去や修繕勧告命令ができ、命令違反は料金を科し立ち入り検査や強制撤去も出来るようになる。

更地の特例軽減措置をどのように対処するのか。

大崎上島町危険建物除去促進事業補助金交付の窓口はどの課に設置するのか。

答弁 (税務課長)

行政代執行に要した費用は所有者の負担となる。

固定資産税の住宅用地特例措置法は適用除外となる。担当は建設課で対応する。

議員活動報告

平成27年7月10日、広島県議会への要望活動を行いました。

県道の危険個所の早期改良について、平田県議会議長並びに森川県議会議員に要望書を手渡しました。

その後、地方創生やCCRなどについて意見交換をしました。





前田 太 議員
まえだ ふとし

問 空き家等の適正管理に関する条例の見直しは

答 改正内容等を検討し対策の推進を図る

質問（前田議員）

空家対策特別措置法が施行され、危険空き家に対する撤去や修繕を勧告・命令できるなどの自治体の権限が法的に裏付けられた。

これまで町でも危険建物除去推進事業などで成果も上がりつつあるが、それ以上に空き家も増加している。

これまで個人の財産権のために対策が困難で、放置される事例が多かった。

所有者は財産ならば大事に管理すべきだし、放置で他人に損害が生じたときは損害賠償責任を負う。

道義的に対応してもらいたい。

この特措法を受けて、町は条例見直しを含め、どのように対応するのか。

答弁（総務課長）

この特措法は本町の条例と重複する規定が何点かあり、条例に規定する必要のないものは削除するとともに、必要に応じて追加するなど、よりよい制度となるよう検討し空き家対策を推進する。

再質問（前田議員）

国の法律が強制力をうたっている。

町も覚悟をもって行政代執行や勧告を行うべきでは。

なかには放置家屋の一部が隣地に侵入して、除去すれば器物損壊の恐れがある。対応可能なのか。



隣家に倒れかかる空き家

また民法第二三九条で、持ち主のいない不動産は国庫に帰属すると明記されている。

このような事例が本町にあるのか。

その法律を活用できないのか。

再答弁（総務課長）

指導、勧告、命令に対応しない家屋の所有者には行政代執行も検討する。

条例では緊急安全措置という条項があるが、今後その方法や執行の形を検討する。

質問の民法の事例については把握していないが、法に基づき適切に執行したい。

問 「地方消滅」への対策は

答 地方版総合戦略を策定する

質問（前田議員）

「地方消滅」とよく聞く。若年女性人口の減少が大きい人口1万人未満の自治体が主に対象だ。

本町も該当する。人口減により地方自治体の行政サービスが困難になる事と理解している。対策を伺う。

答弁（企画振興課長）

「地方消滅」という言葉は極端な表現で、将来への警鐘だと認識している。

本町では第2次長期総合計画を策定し、各分野のニーズに対応していく。プロジェクトチーム、総合戦略会議を設け将来への準備を進めている。

大崎上島中学校 部活動紹介 ソフトテニス部

議会は、がんばる島の子
ども達を応援します。
中学校での部活動の取り
組みを紹介します。

『このページは、中学校
より頂いた原稿・写真を掲
載しています。』

〇月〇日（曜日）

日直

ソフトテニス部は、現在3年生
4人、2年生11人、1年生10人で
活動をしています。

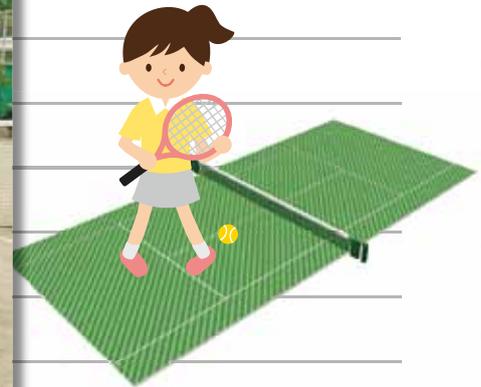
今年は「楽しくーそして真剣
にー声を出して練習」を合言葉に
しています。

豊竹の大会で優勝することを目
標に、毎日一生懸命、練習に取り
組んでいます。

一球一球を大切にし、顧問の敵
光嘉之先生、末田正司先生、森山
晶奈先生そして村山不二夫コーチ
に教えていただいたことを忘れな
いように気を付けています。

春の豊竹の大会では、良い結果
を残すことができなかつたので、
夏の大会で良い結果を残せるよう
に頑張ります。

応援よろしくお願いします。



総務福祉文教常任委員会報告

委員長：越田賢一 副委員長：閑田大祐
委員：信谷俊樹 尾尻康二 道林清隆

平成27年3月定例会以降に開催した委員会での主要な調査、協議事項及び継続審議した内容と、事業内容の審議を報告します。

○木江支所非常用発電機更新工事

木江支所の非常用発電機については、平成26年度6月補正予算で受電設備の改修とバッテリー交換を行ったが、平成27年2月に発電機本体が故障、36年経過しており支所機能を維持していくため、非常用発電機を新規に設置します。



木江支所非常用発電機

○役場本庁舎耐震補強工事の見直し

当初計画では、耐震安全性の分類Ⅲ類で一般官庁施設として設計・改修することとしていたが、役場本庁舎は災害応急対策活動に必要な施設及び避難所として位置付けられた施設であることから、Ⅱ類に変更し設計・改修する。計画の見直しに伴う影響等は工期が1か月延び、概算工事費も増額になります。



役場本庁舎

○町防災行政無線(沖浦・明石地区)の故障について

平成27年2月に大島山簡易中継局配下(沖浦・明石地区の7区)の子局が放送・受信不可能となり、復旧に長期間を要した。親局向け送受信機の故障と判明。代替機と交換し仮復旧を完了後、修理を実施。業者が保有する代替機が極端に少なく確保に時間を要するため、町でも代替機を保有できないか協議しました。しかし1組約1千万円と高額なため、他の納入団体と連携して保有できないか協議中。

○「大崎上島町介護保険条例」の一部改正

介護保険法の改正に伴い、平成27年4月から介護保険の一号保険料について、給付費の5割の公費とは別枠で公費を投入し、低所得の高齢者の保険料を軽減するものです。

○木江プール改修工事

給水管工事をプール公開前に実施します。その他の部分の改修工事はプール公開終了後に行う予定。



木江プール

産業建設常任委員会報告

委員長：前田 太 副委員長：浜田幸造
委員：辰田真司 渡辺年範
 蔭田篤雄 浜田明利

平成27年3月定例会以降の産業建設常任委員会報告をします。

各課から6月定例会で議案となる補正予算案や提出議案の説明、主な事業の説明をうけて審議をしました。また、事業の現地視察も行いました。

○アンテナショップ

アンテナショップ施設は、本来観光スポットや港付近に設置すべきで、現在地では立地が悪く、施設運営に費用的負担が多く、現在の大崎上島アンテナショップ条例では目的外使用が出来ないなどの問題があり、条例を廃止して自由で有効な活用を図りたいとの説明をうけ審議しました。その上で商業施設に限定せず、幅広い利活用が出来るように提言しました。



アンテナショップ

○危険建物除却推進事業

町内で崩壊などの危険がある建物を取り除くため、最大で30万円の補助を行い、これを推進する事業です。当初5件の予定で予算化し施行されましたが、これに対して申し込みが上回り、さらに5件分の補正予算案が示され審議しました。空き家対策は全国的に重要な課題となっており、今後も検討を続けていきます。

○「戦略会議」設置

大崎上島町における、まち・ひと・しごと創生のための策定・推進と地方創生に関して、有識者からなる大崎上島町総合戦略会議と役員職員による創生戦略プロジェクトチームが置かれました。人口ビジョンや町における地方創生に関することに取り組みます。



総合戦略会議

○現地視察

石摺橋架替え工事、町道東原下向山線改良工事の現場と新設された大串海水浴場シャワー棟を視察しました。



石摺橋の視察

追跡 あれからどうなった

(平成26年9月定例会一般質問から)

質問

消防団施設改善は

回答

消防団と協議の上改善する

その後の経過

ヘッドライトは平成27年度に購入予定で、その他の装備については順次購入予定。



編集後記



日本版CCRCの議論が熱を帯びてきている。

介護施設や介護従事者の足りない都会の高齢化が進む前に、すでに高齢化が進み、介護の施設やノウハウが充実している地方に高齢者を移住させるという計画だ。

「人口の一極集中も緩和でき、地方の雇用機会も増える。」という論法だが、果たしてそうだろうか。

介護の現場は、重労働だが賃金は安い。介護従事者が増えない理由の一つだ。

これが改善されない限り、絵に描いた餅になりかねない。

ほかにも様々な懸念がある。

年々気温が上昇し、夏本番を前にすでに暑さに食傷気味だが、CCRC

の議論がそうならないよう見守りたい。

(K)

議会広報委員

委員長 閑田大祐

副委員長 道林清隆

委員 辰田真司

越田賢一

前田 太

浜田幸造



議会傍聴を試みませんか。

次回の定例会は**9月**です

日程は町内放送・ホームページでお知らせします。

大崎上島町議会

☎ (0846) 65-3130 (直通)

FAX (0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL: <http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>